

ノンテクニカルスキル 実践セミナー

～ より安全な業務遂行のために ～

ノンテクニカルスキルとは、テクニカルスキルを補い、業務遂行をより安全に、より効率的に進めるための個人の技能です。
学習・訓練により向上させることができます。

開催日時	2026年 6月24日(水) 2026年11月 9日(月)	東京会場	各回とも 10:00～17:00	会場	日本能率協会 研修室 (東京・港区・芝公園)
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンエラーを削減したい方 ・安全意識の高い部下・チームを育てたい方 		<ul style="list-style-type: none"> ・チームのコミュニケーションを改善したい方 ・ノンテクニカルスキル向上の具体策を知りたい方 		
講師	高橋 澄子氏 (株)MOMO 代表取締役 公認心理師・経営コンサルタント 米国CTI認定プロコーチ / 産業カウンセラー		参加料(税込)	法人会員：60,500円/1名 会員外：71,500円/1名	

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

本セミナーのねらい

製造現場における事故やトラブルの背景には、知識や技術の不足だけでなく、思い込みや見落とし、認識のズレ、伝達不足、言い出しにくさなど、人に起因するさまざまな要因があります。こうしたリスクを低減し、安全で安定した業務遂行につなげるためには、ノンテクニカルスキルの向上が欠かせません。

本セミナーでは、人の脳や心理、身体の特徴を踏まえながら、状況把握、意思決定、コミュニケーション、リーダーシップなど、安全行動を支える具体的なポイントを学びます。講師による実演や受講者同士の演習を通じて、受講後すぐに職場で活かせる実践的な方法を体験的に習得し、ヒューマンエラーの未然防止、安全意識の高い職場づくり、部下への効果的な指導・育成に役立てていただけます。

認識ギャップ発生の原因

- 脳(ワーキングメモリー)の容量オーバー
- 認知バイアスの存在(見方・判断の偏り)
- 知識・経験の不足
- 心身の不調 etc.

参加者の声

- ・誰もがエラーを起こす可能性があることが分かったので、現場の全員にノンテクニカルスキル教育が必要だと感じた。
- ・脳の癖や限界からエラーが起こることを忘れずに、脳が間違いを起こしにくい作業手順や作業環境を整えていきたい。
- ・部下に積極的に問いかけることで、自問自答し客観的に見る眼を育てたいと思う。
- ・コミュニケーションを改善するために、具体的に何に注意すれば良いか分かったので、さっそく部下に実践したい。
- ・チームの「心理的な安全」の大切さを知ったので、1人1人が「安心・安全」を感じられるようなチーム運営を心がけたい。
- ・正直睡眠がそれほど重要だとは思っていなかった。交代勤務制なので、作業員に睡眠の指導をしたい。

コミュニケーションギャップ発生の原因

- 下手な話し方・聴き方
- 強すぎるリーダーの権威
- 人間関係の希薄さ・まずさ
- 心理的安全性の低さ
- 心身の不調 etc.

プログラム 10:00～17:00 [昼食] 12:30～13:30

- 誰もがエラーを起こす恐れがある**
 - ・人間の脳と身体との限界がヒューマンエラーを生む
 - ・人間の脳や心理、身体からの制約から生まれるギャップ
 - ・認知のギャップ、コミュニケーションのギャップとは
- 間違った状況把握・意思決定を防ぐ**
 - 状況把握・理解の間違いが招いた大事故とインシデント
 - ① **状況把握**
 - ・状況はこうして間違えて理解される
 - ・自分を客観的に見つめるもう一人の自分を育てる **演習**
 - ② **意思決定**
 - ・経験・条件によって意思決定の方法は異なる
 - ・正しく意思決定するための支援策を用意する **演習**
- チームの力で安全を守る**
 - まずいコミュニケーション、リーダーシップが招いた大事故
 - ③ **コミュニケーション**
 - ・コミュニケーションエラーを防ぐ
 - ・「安全を守る」話し方・聴き方のポイント **傾聴実習**
- チームワーク**
 - ・仕事の「安全」を担保するチームの「心理的な安全」
 - ・「心理的な安全」をつくるリーダーのコミュニケーション
- リーダーシップ**
 - ・通常の業務遂行時のリーダーのスキル
 - ・緊急事態のリーダーのスキル **演習**
- 安全を脅かす心身の不調を防ぐ**
 - ④ **チームワーク**
 - ⑤ **リーダーシップ**
 - ⑥ **ストレスマネジメント**
 - ・ストレスが引き起こす身体・精神・行動の異常
 - ・自分でストレスをケアする方法 **瞑想実習**
 - ⑦ **疲労への対応**
 - ・睡眠の効果と睡眠チェック
 - ・交代勤務者に対する指導 **睡眠チェック**
- 振り返り**

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

